

病床数適正化事業による病床削減について

構想区域名： 岩国保健医療圏

対象医療機関名： 岩国みなみ病院

1 地域の状況			
地域の現状と課題		山口・岩国医療圏について、岩国市内の主な病院の病床数は、中核となる独立行政法人国立病院機構岩国医療センターが484床、地域医療支援病院の岩国市医療センター医師会病院が181床です。これを含めた岩国圏域の医療計画における必要病床数は約1580床前後とされています。	
2 自施設の状況			
自施設の現状 (変更前)		当院は、急性期45床(うち休床17床)を保有している しかし、常勤医師、看護師等の人材確保が困難な状況が続いており、加えて建物の構造上、階層に病棟が分かれているためそれぞれの階(2F28床→※9月に30床に改装予定、3F17床)に看護人員配置が難しく、令和3年9月より急性期17床を休床中である。 これを契機に、病院全体の人的資源をはじめとする経営資源の最適化を迫られている状況にある。	
病床数削減について	削減の内容 削減の理由について	急性期15床を削減する 削減理由は、 ①医師、看護師等の人材不足によって、人員配置を適正化する必要が生じたため ②コロナ後、現在当該病床は休床中であり、限られた人的資源で業務効率化を図る必要があるため ③今後、2Fの病床数を2床増床させる予定であり、人的資源を集約する必要があるため	
	対象の病棟・病床の概要	削減する病床は、急性期15床で令和3年9月より休床中である。	
	新興感染症に係る協定 締結医療機関の確保病床について	新興感染症に係る協定の締結の有無について	協定あり・協定なし
		今回の削減が当該協定の確保病床に与える影響について	削減する病床は、当該確保病床ではないので、当該協定への影響はない
3 病床削減をしても入院医療の継続に支障がない理由			
理由		従前より休床中の病床を削減するにすぎず 削減後の残り30床は、人的・物的資源を集約し、病床の稼働率7%向上させることで、継続的な入院医療を今後も提供できるものとする。	

【参考】対象区分別の削減(計画)病床数

対象区分	R6	削減時期	R7	削減時期	R8	削減時期	計
高度急性期							
急性期					15	2026/9/1	15
回復期							
慢性期							
合計					15		15

【参考：R7病床機能報告(岩国保健医療圏の状況)】

病床区分		高度急性期	急性期	回復期	慢性期	休棟・ 廃止予定	合計
報告	①R7 (2025)現状	266	406	256	651	9	1,588
	②R8 (2026)予定	266	390	256	651		1,563
構想	③R7 (2025)必要数	131	419	446	505		1,501
④構想との差(R7) (①-③)		135	△ 13	△ 190	146	9	87
⑤構想との差(R8) (②-③)		135	△ 29	△ 190	146		62

対応方針（2025プラン）の変更（岩国みなみ病院）

病床機能報告における 病床数（7月1日時点）			対応方針（2025プラン）の内容					備考 （対応方針の実 施予定時期等）
機能 区分	R7 現在	R8 予定	病院の特徴・役割	今後の方針	機能別病床数（2025）			
					機能 区分	現行	変更後	
高 度 急性期			・ 急性期機能を担う。	・ 将来の医療需要を見据えるとともに、医師・ 看護師等の限られた医療資源を最大限効率的に 活用するため、急性期病床数を15床減らし、 30床へ見直すとともに、今後、一般病床での 実績を踏まえて一部地域包括ケア病床への転換 も検討する。	高 度 急性期			令和8年9月1 日実施予定
急性期	45	45			急性期	45	<u>30</u>	
回復期					回復期			
慢性期					慢性期			
休 棟					休 棟			
合 計	45	45			合 計	45	<u>30</u>	